

東山動植物園について

■アンケートの趣旨

東山動植物園では、動植物園の果たすべき役割や使命の変化を背景に、2005年度から「東山動植物園再生プラン」の検討を始め、その後「東山動植物園再生プラン新基本計画」を策定・公表し、現在この新基本計画に基づいて具体的な取り組みを進めています。

今回のアンケートは、皆さまの東山動植物園の利用状況やイメージ、評価などについておたずねし、今後の取り組みの参考とするものです。

■説明・前提条件

Q1：必須 ・選択数1つ	Q2：Q1の選択による ・選択数1つ	Q3：Q2の選択による ・選択数1つ	Q4：Q2の選択による ・選択数1つ
Q5：Q2の選択による ・選択制限なし	Q6：Q2の選択による ・選択数3つまで	Q7：Q2の選択による ・選択数1つ	Q8：必須 ・選択制限なし
Q9：必須 ・選択数3つまで	Q10：必須 ・選択制限なし	Q11：必須 ・選択制限なし	Q12：必須 ・選択数1つ
Q13：必須 ・選択数3つまで	Q14：必須 ・選択数3つまで	Q15：任意 ・自由記載	

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出（このため、合計が100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常100%を超える

■アンケート実施期間

令和5年7月14日（金） から 令和5年7月24日（月）まで

■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数： 500 人 回答数： 463 人 有効回収率： 92.6%

■問い合わせ先

調査テーマに関すること

緑政土木局 東山総合公園再生整備課

電話：052-782-2111

FAX：052-782-2140

E-Mail：higashiyama@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること

スポーツ市民局 広聴課

電話：052-972-3139

FAX：052-972-3164

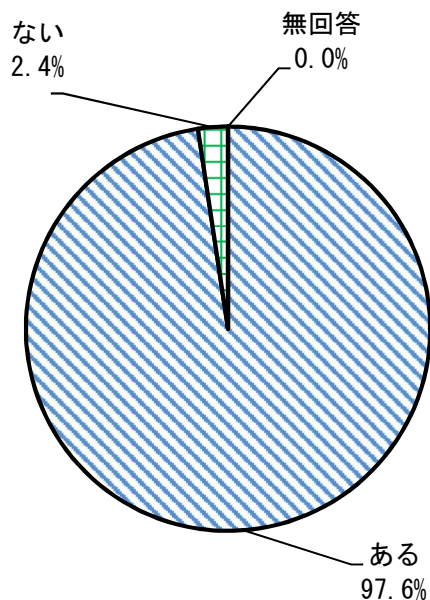
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

回答集計

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

Q 1 【※必須】 あなたは東山動植物園に行ったことがありますか。（選択は1つ）

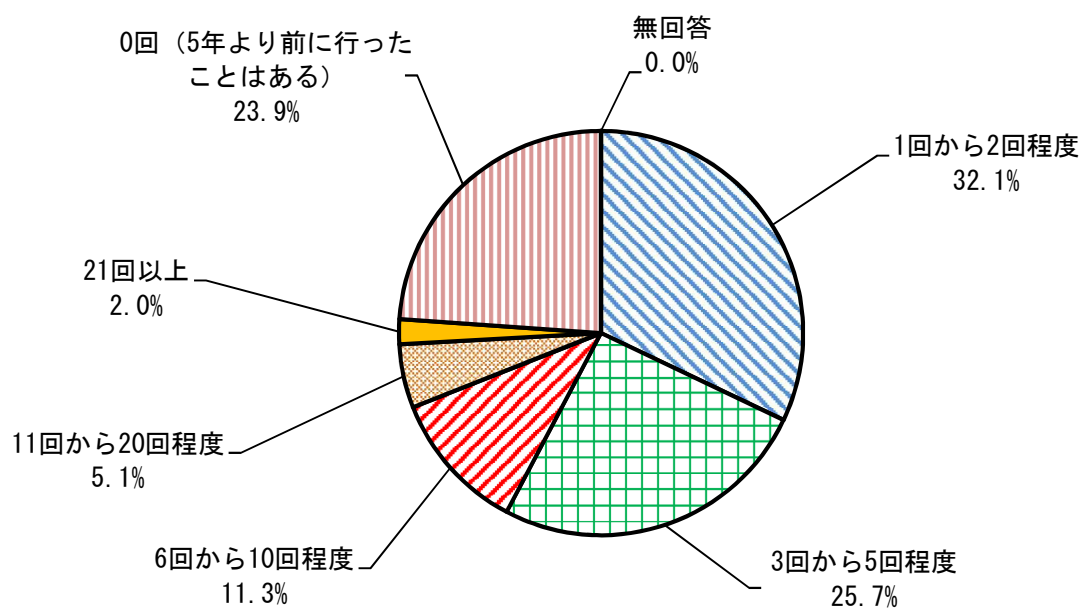
N = 463



【Q 2はQ 1で「ある」と答えた方におたずねします。】

Q 2 あなたは過去5年間に、何回、東山動植物園に行きましたか。（選択は1つ）

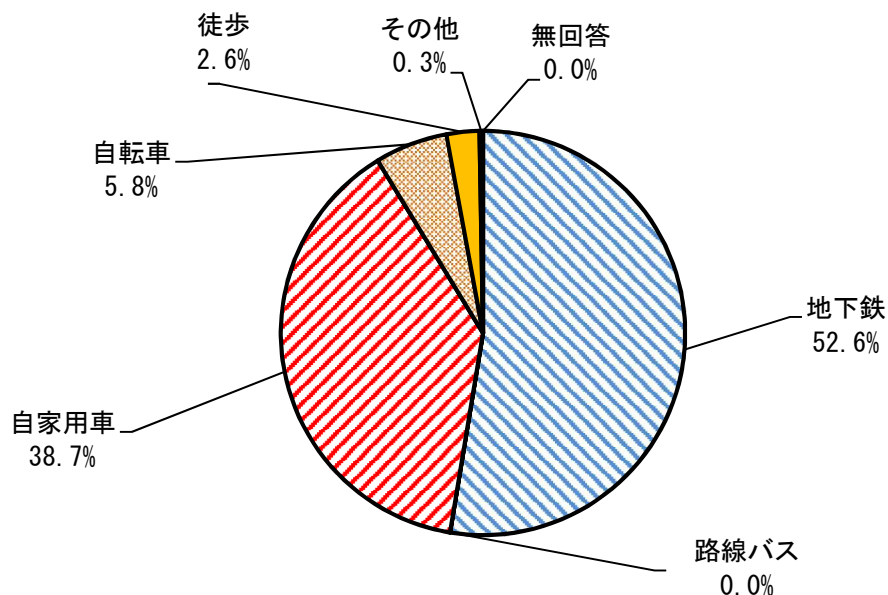
N = 452



【Q3～Q7はQ2で「1回から2回程度」「3回から5回程度」「6回から10回程度」「11回から20回程度」「21回以上」と答えた方におたずねします。】

Q3 あなたが最後に来園された際の交通手段はどれですか。（選択は1つ）

N=344

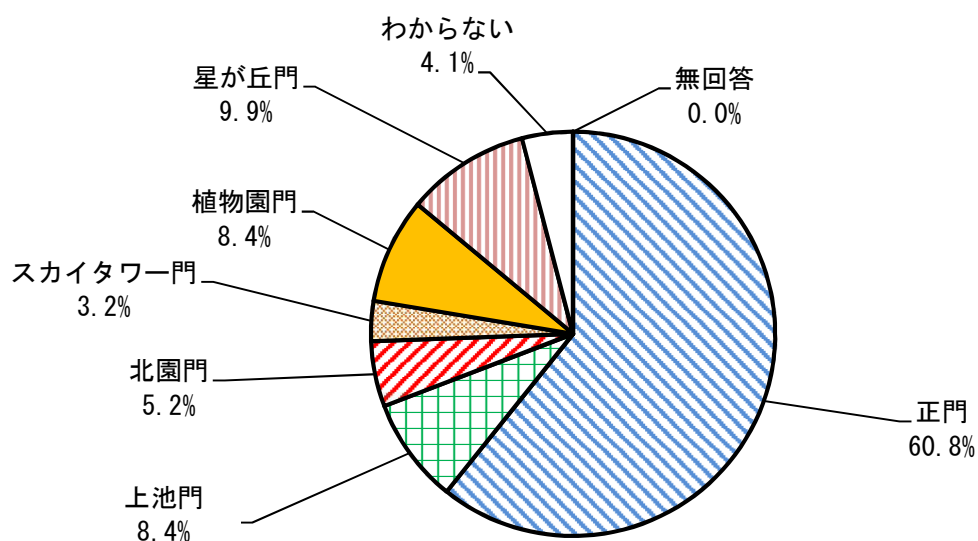


【参考資料】添付1：東山動植物園園内マップ

Q4 あなたが最後に来園された際に入園した門はどこですか。（選択は1つ）

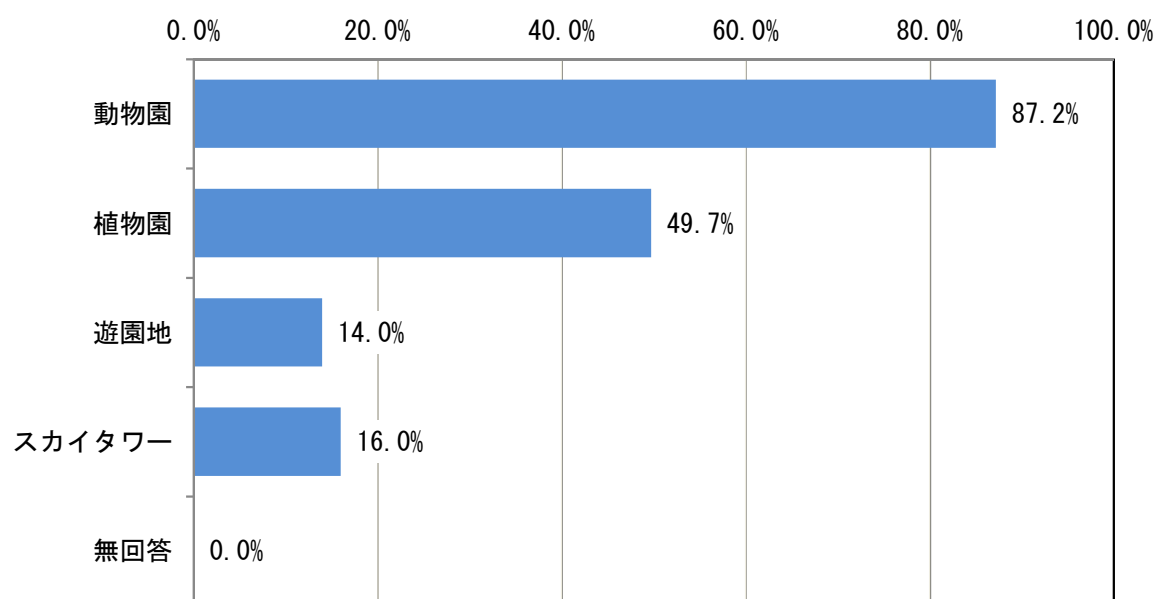
各門の場所は東山動植物園園内マップを参考にご覧ください。

N=344



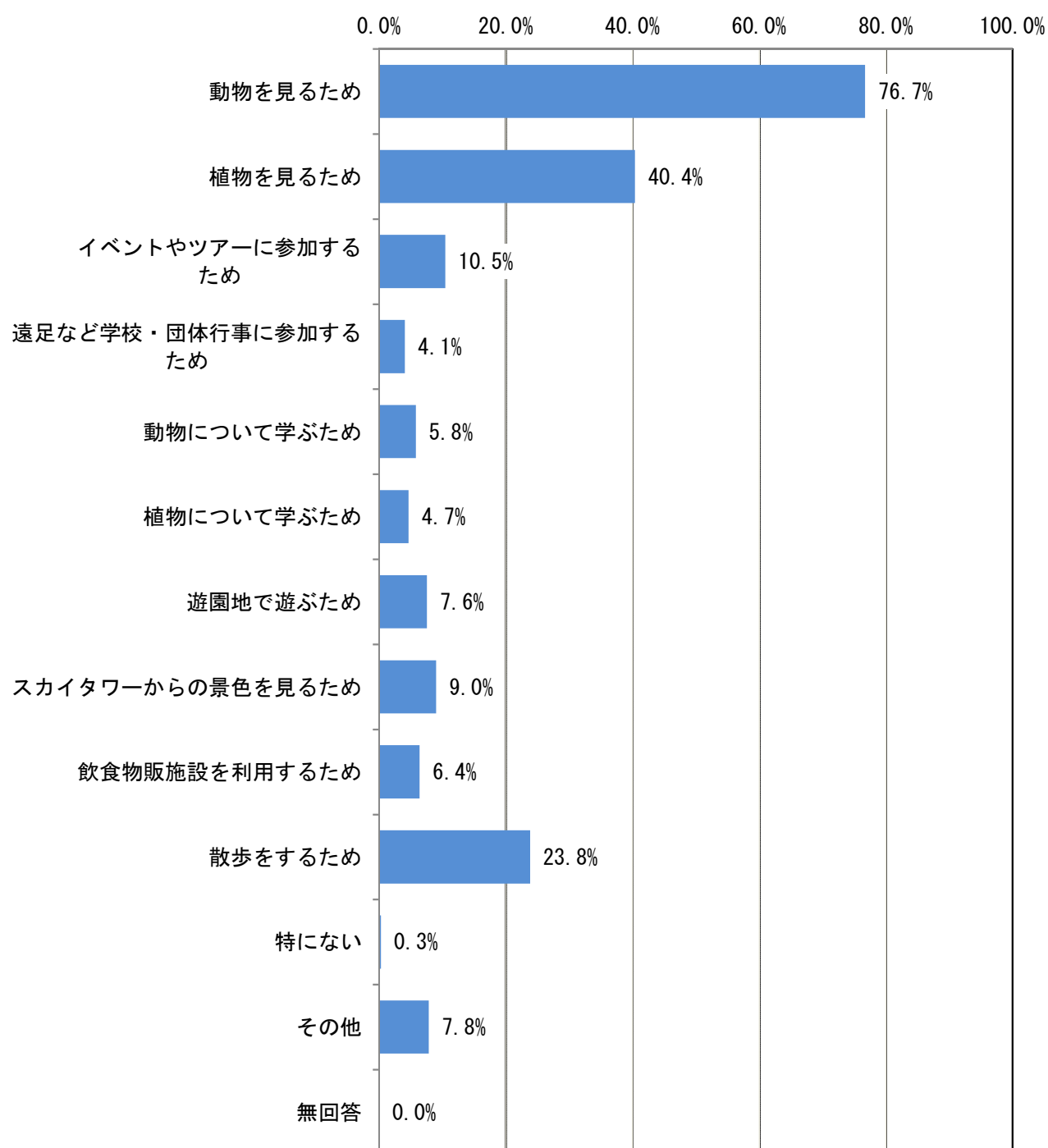
Q 5 あなたが最後に来園された際に訪れた場所はどこですか。(選択はいくつでも)

N = 344



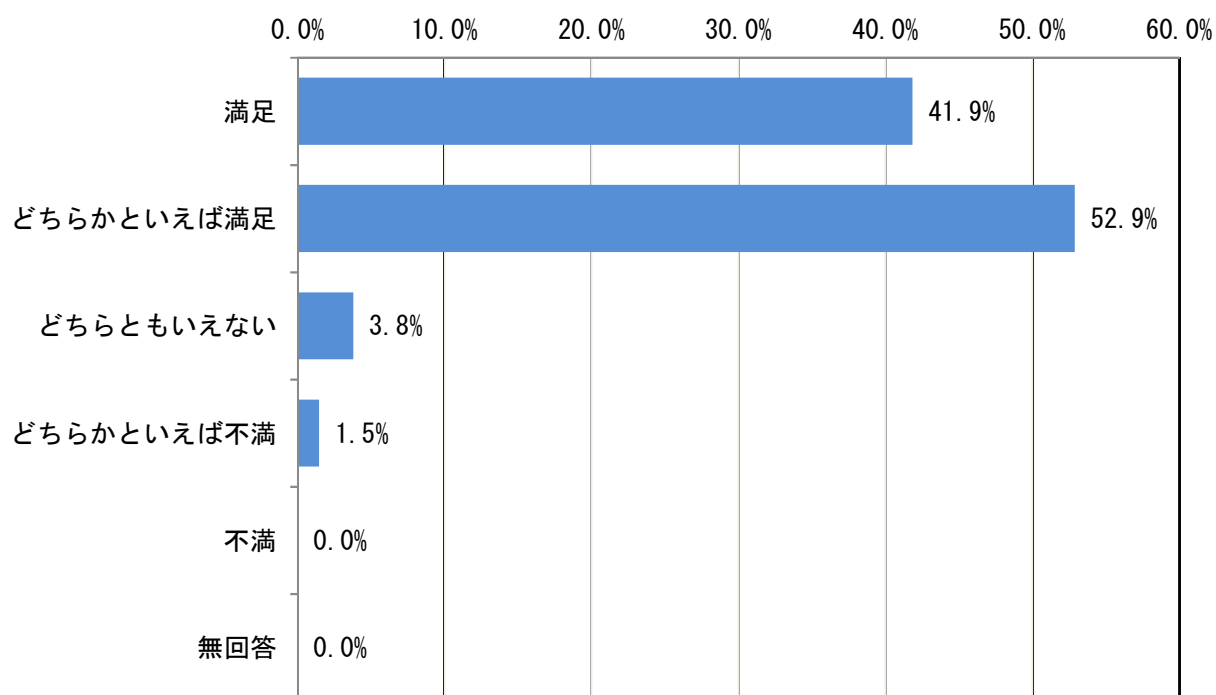
Q 6 あなたが最後に来園された際の、あなたの目的はどれですか。(選択は3つまで)

N=344



Q 7 あなたの東山動植物園に対する総合的な満足度はどれですか。(選択は1つ)

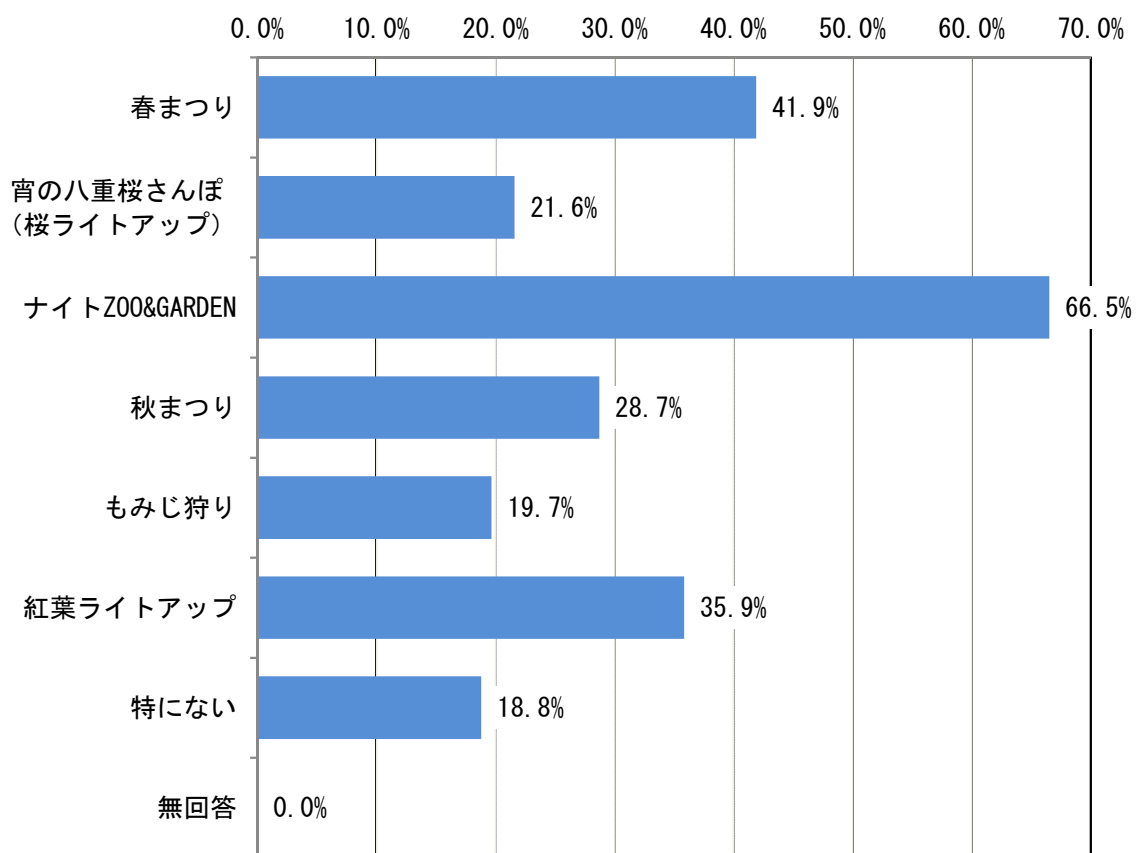
N = 344



【すべての方におたずねします。】

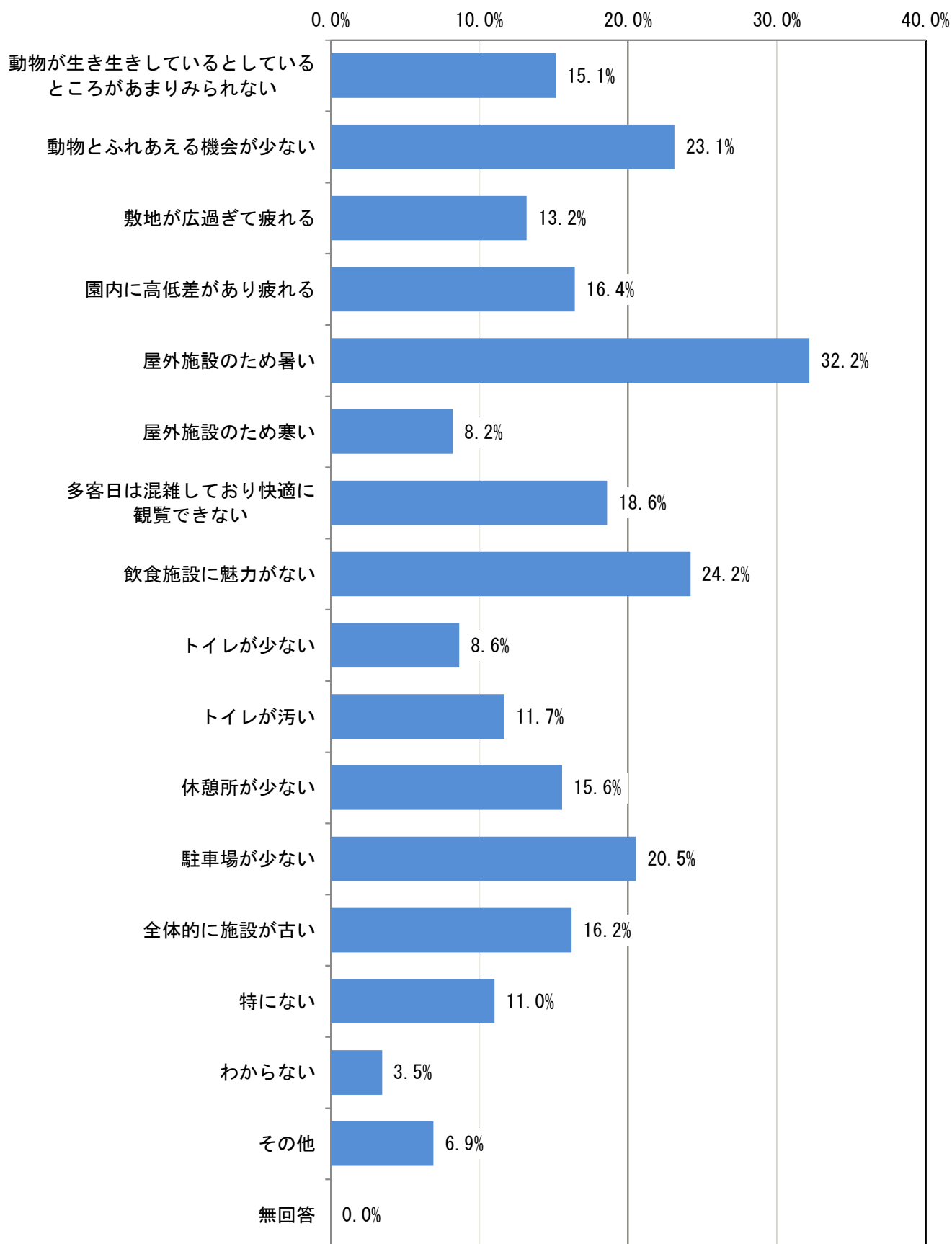
Q 8 【※必須】 東山動植物園では定期的にイベントを開催していますが、あなたが知っているイベントはどれですか。（選択はいくつでも）

N = 463



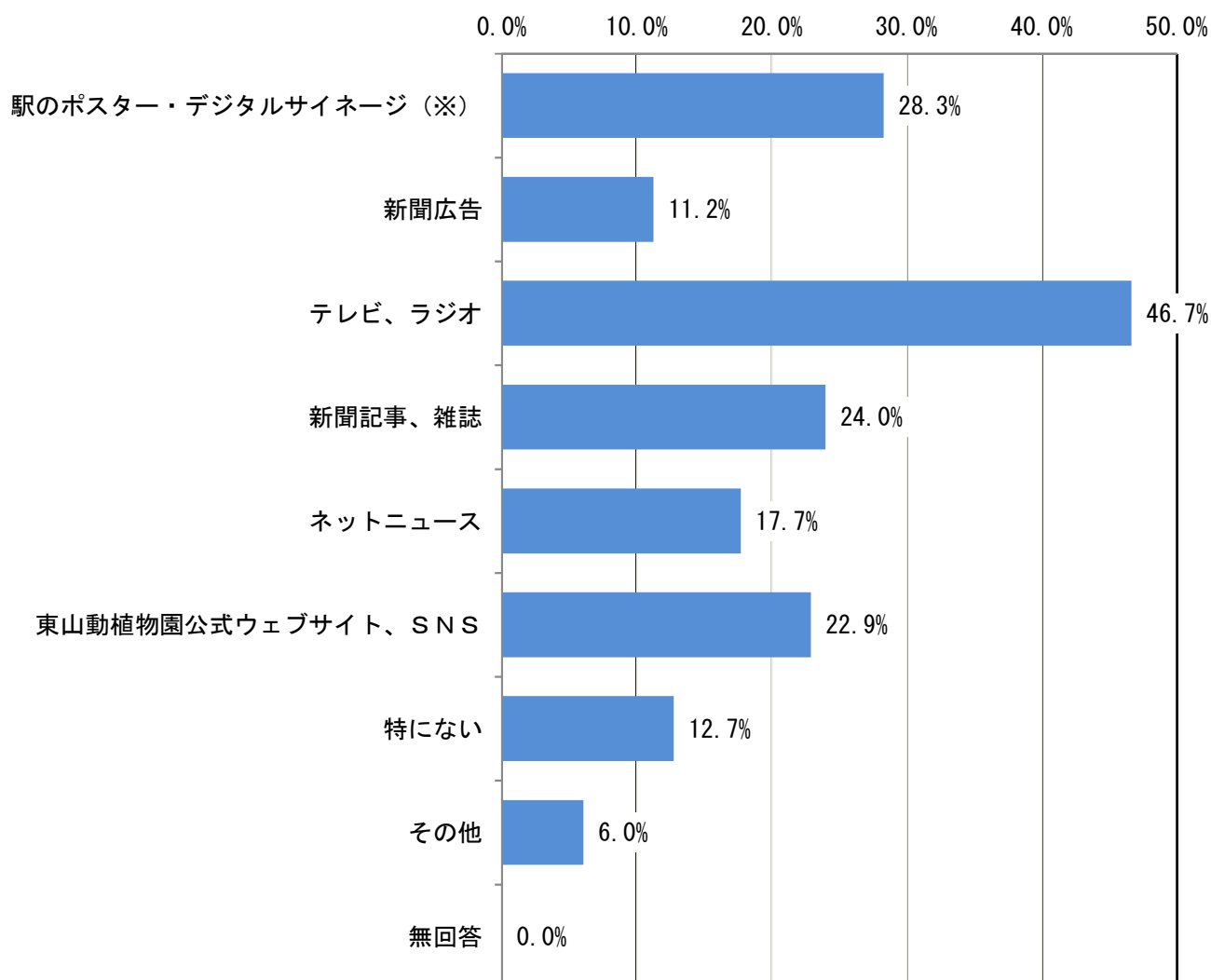
Q 9 【※必須】あなたが東山動植物園のマイナスイメージと思われるのはどれですか。
(選択は3つまで)

N = 463



Q10 【※必須】あなたは過去1年間に、東山動植物園の情報を何で見聞きしましたか。
(選択はいくつでも)

N=463



※デジタルサイネージ：液晶ディスプレイなどのデジタル機器により情報を表示した看板

【東山動植物園再生プランについて】

「東山動植物園再生プラン」では、開園初期からの建造物や大きく育った樹木、都市に残る豊かな自然など今ある魅力を大切にしながら、もっと身近に、もっと楽しく自然と向き合える

「歴史と文化に育まれた人と自然のミュージアム」にすることを目指しています。再生プランの概要は下記の URL をご覧ください。また、東山動植物園再生プランにより、新規に整備した施設の概要については、下記の別添 PDF を参考にご覧ください。

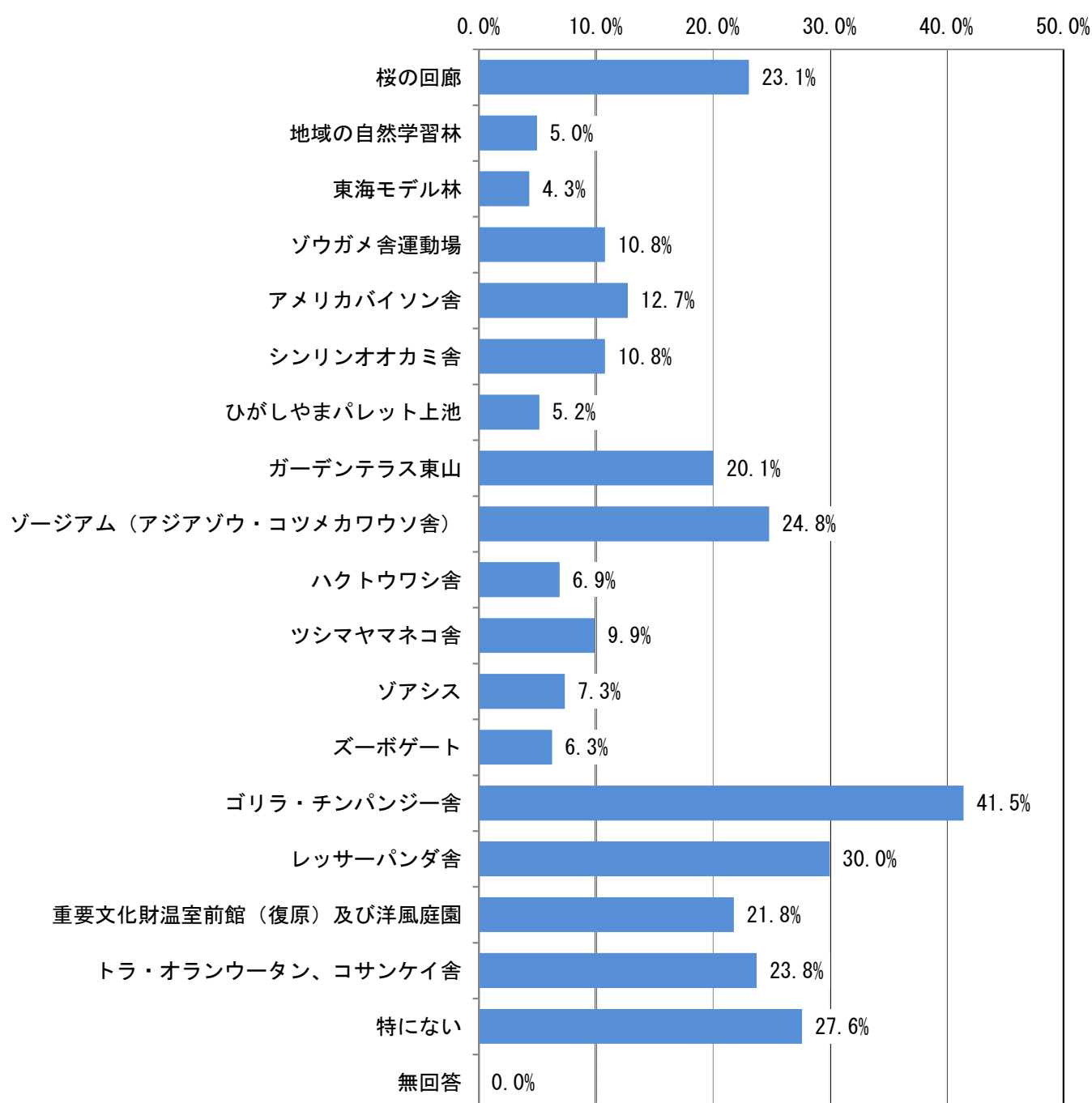
【参考資料】関連リンク：東山動植物園再生プラン新基本計画（概要版）

https://www.city.nagoya.jp/ryokuseidoboku/cmsfiles/contents/0000010/10762/shin_kihonkeikaku_gaiyou.pdf

【参考資料】添付 2：東山動植物園再生プランでの主な新規整備施設一覧

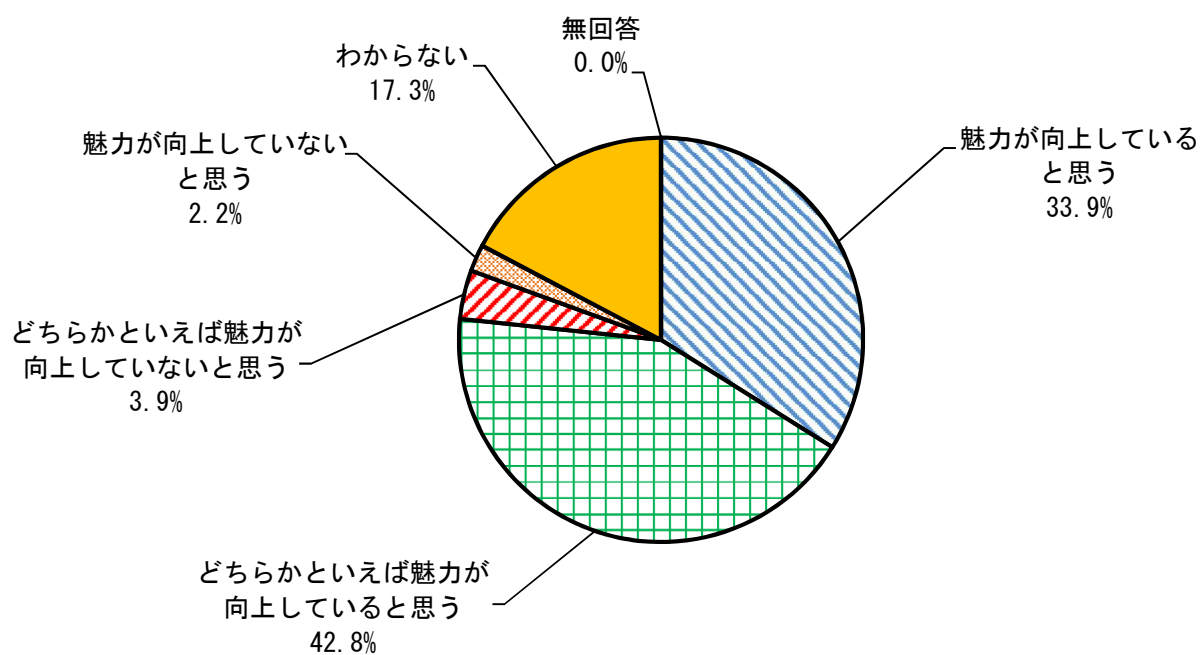
Q11 【※必須】東山動植物園再生プランにより新規に整備した施設の中で、あなたが知っているものはどれですか。（選択はいくつでも）

N=463



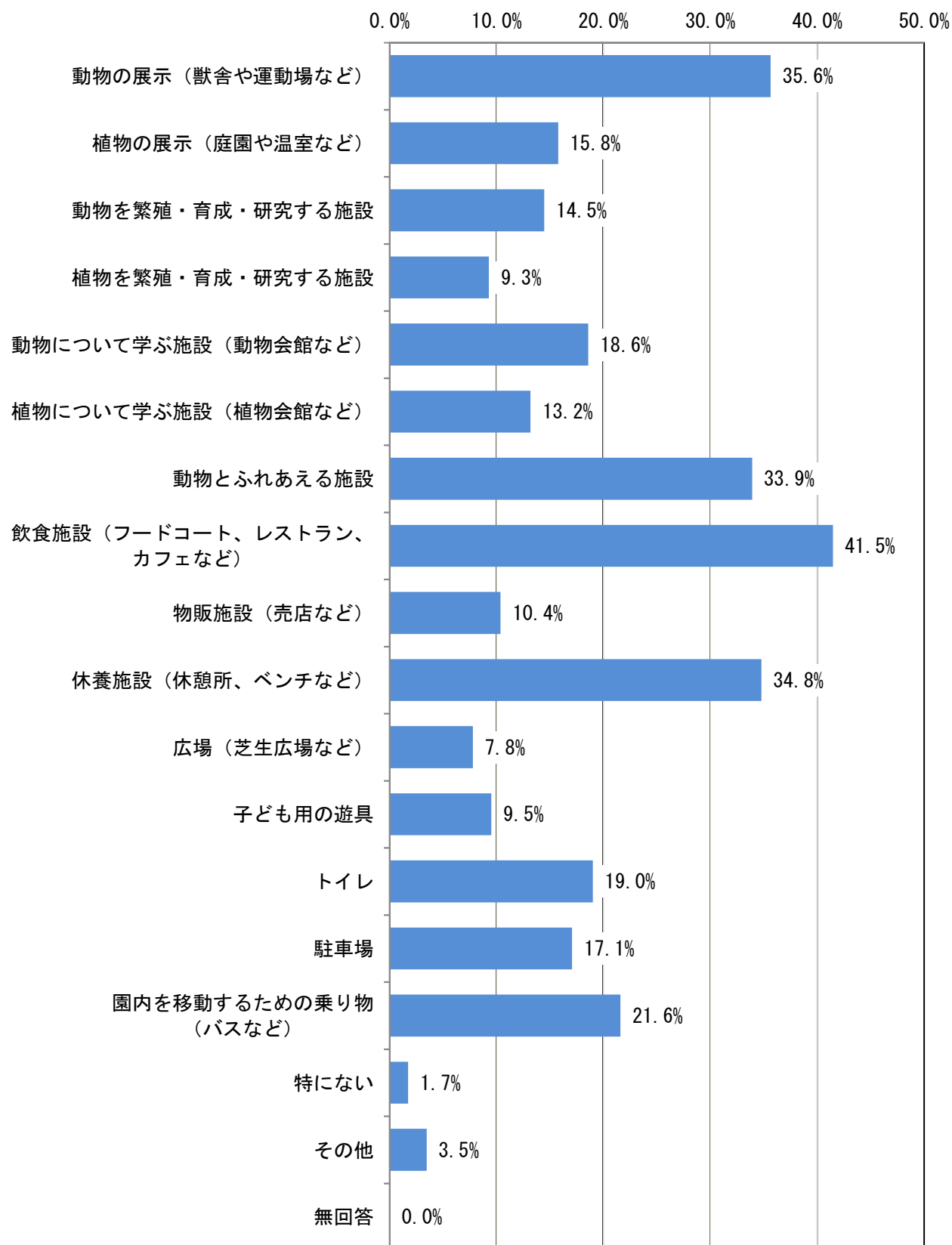
Q12 【※必須】あなたは、東山動植物園再生プランの再生事業により、動植物園の魅力が向上していると思いますか。（選択は1つ）

N=463



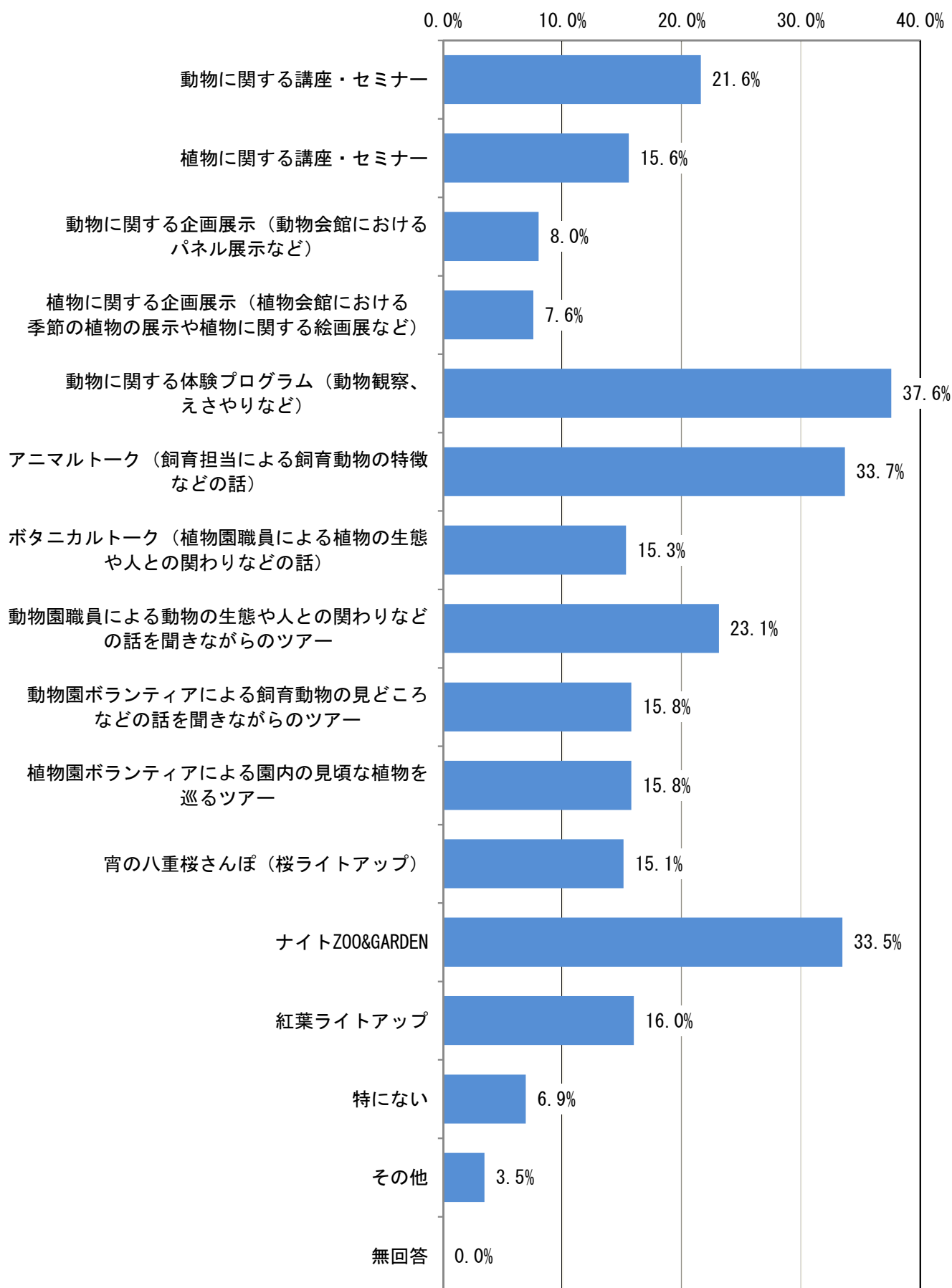
Q13 【※必須】あなたが今後、東山動植物園で充実させると良いと思われる施設・設備はどれですか。（選択は3つまで）

N=463



Q14 【※必須】あなたが今後、東山動植物園で充実させると良いと思われるイベントはどれですか。（選択は3つまで）

N=463



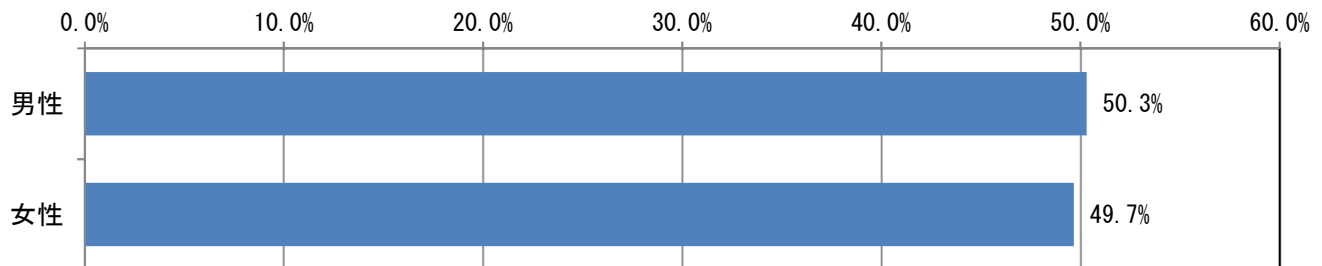
- ・ 散歩してもよし、動植物をみてもよし、食事をしてもよしと、自分にとっては名古屋市の施設の中で愛着のある場所になっています。動物が観察しやすい展示の工夫など、時代と共に魅力のある動物園になってきていると思います。これからも、魅力いっぱいの動物園であってほしいと思っています。
- ・ 動物が自然に生活している姿を身近に観察できる施設にしてください。
- ・ 園内の高低差はやはりキツイです。園内を楽にまわれる乗り物が増えたら、動物園も植物園もまわりやすいかと思います。
- ・ 最近は暑さ寒さが厳しいので、その対策があると良いかと思います。
- ・ 広くて一日いられるのが、とてもいいが、休憩する所や、飲食できる休憩所がもっとほしい。

ほか

■属性集計

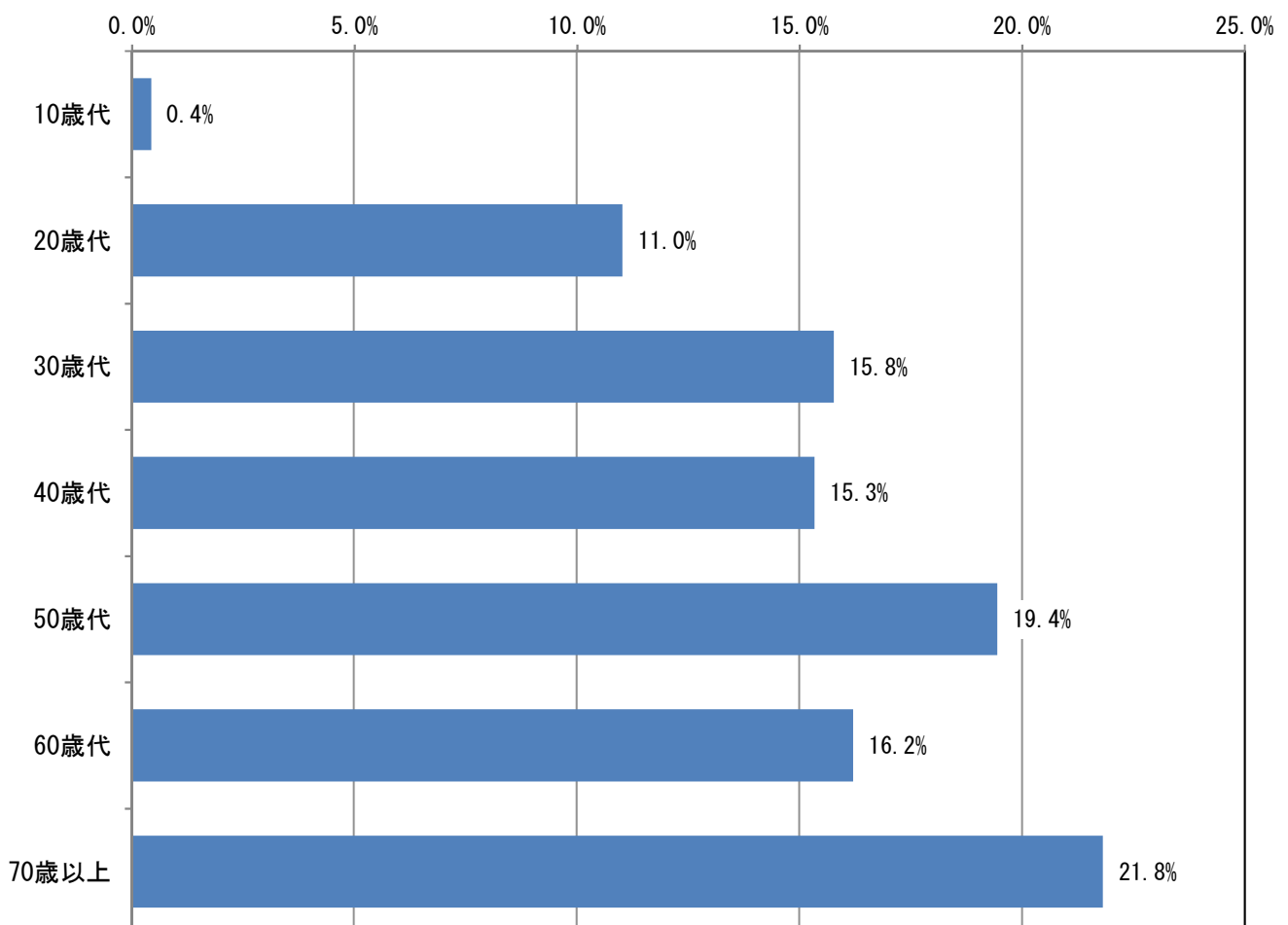
性 別

	全体	男性	女性
%	100.0%	50.3%	49.7%
回答者数	463	233	230



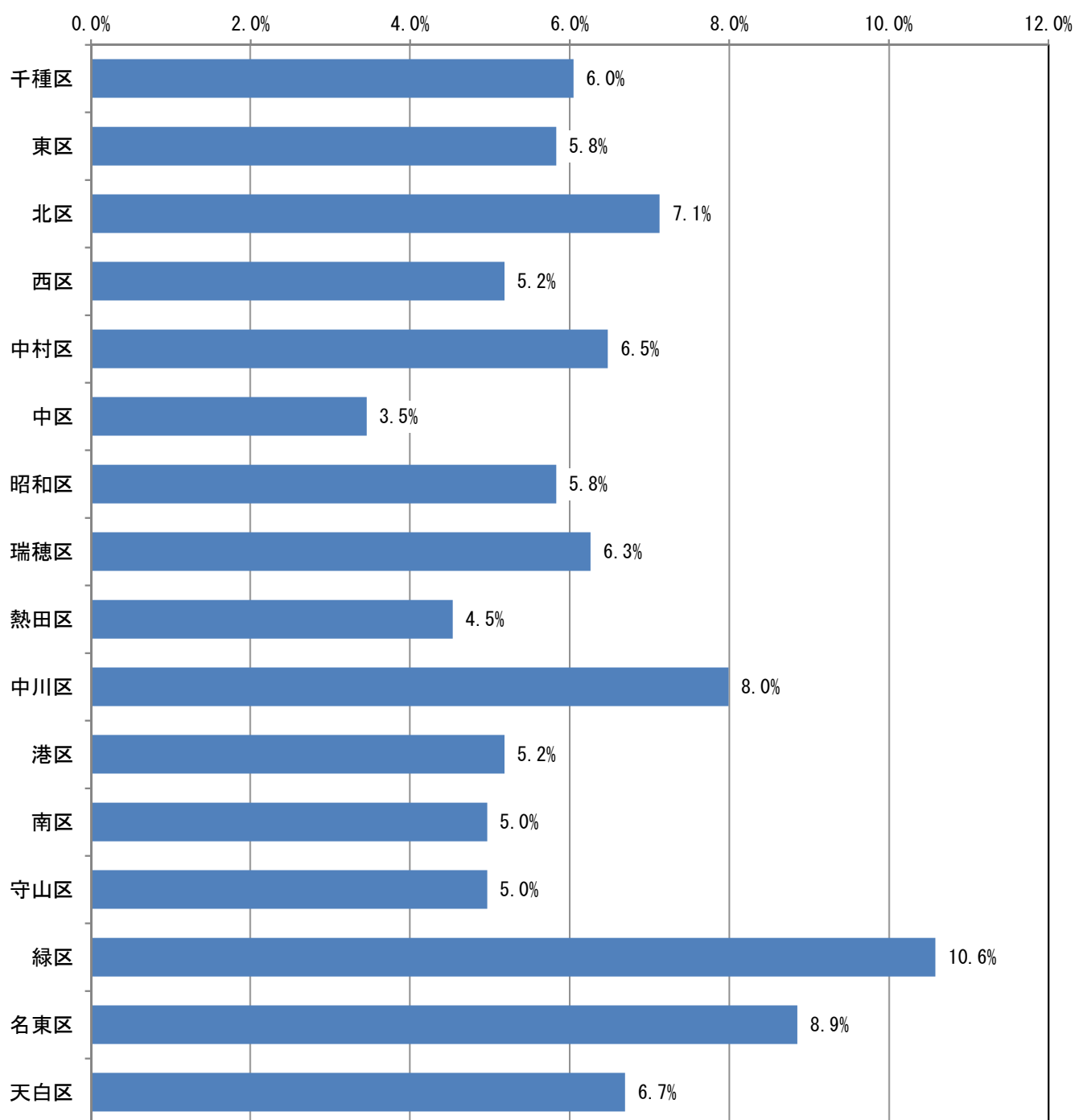
年 代

	全体	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
%	100.0%	0.4%	11.0%	15.8%	15.3%	19.4%	16.2%	21.8%
回答者数	463	2	51	73	71	90	75	101



居 住 区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.0%	5.8%	7.1%	5.2%	6.5%	3.5%
回答者数	463	28	27	33	24	30	16
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		5.8%	6.3%	4.5%	8.0%	5.2%	5.0%
		27	29	21	37	24	23
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		5.0%	10.6%	8.9%	6.7%		
		23	49	41	31		



【参考資料】

添付 1：東山動植物園園内マップ

MAP 園内マップ

園内施設、動物の所在、工事情報などは、施設整備その他の理由で表示と異なる場合がありますのでご了承ください。



【参考資料】

添付 2：東山動植物園再生プランでの
主な新規整備施設一覧

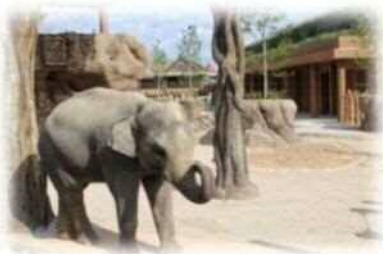
東山動植物園再生プランでの主な新規整備施設一覧

整備箇所	オープン 年月	写 真	概 要
桜の回廊	2009年 3月		日本の園芸文化の根幹の一つである桜を日本全国から集め、その種の多様性を学ぶことができるようにするとともに、古来からの景観を重視した里山のヤマザクラの咲く風景を創出することを目指しています。 さらに、名古屋に縁のある伊藤圭介が記述した「錦果草本図説・桜譜」にある品種も併せて導入し、近代の園芸とのつながりも展示しています。
地域の自然学習林	2009年 4月		名古屋地域の自然植生の景観を再現し、子どもに親しみのある代表的な昆虫（カブトムシ、クワガタ、チョウ、バッタなど）のすみかとしての植生を創り、身近な生き物の採取や生態の観察を通して、自然を知る体験の場とすることを目指しています。 名古屋地域の絶滅が危惧される残すべき植物を保全し、栽培管理調査を通して、地域の自然の保全活動に役立てます。
東海モデル林	2009年 4月		東海地域の有用植物を中心にその景観を再現し、人と植物の関わりを展示しています。 また、林業体験、栽培収穫体験、植物と人との生活体験学習ができる場所とします。 東海地域に飛来し、植物園が調査地点になっている渡りのチョウであるアサギマダラの調査拠点とし、チョウの食草（ガガイモ）や蜜源植物（ヒヨドリバナ）の見本園にアサギマダラを呼び込みます。
ゾウガメ舎運動場	2010年 4月		希少種であるゾウガメの健康維持・繁殖を図るために、日光浴ができる運動場を併設しています。 運動場周囲の観覧通路を低くし、ゾウガメの目の高さからゾウガメの動きや、ゾウに似ているといわれる足の形状、甲羅の模様などを間近で観察していただけます。 また、運動場内に張り出したビューイングシェルターでは、ゾウガメの目線でゾウガメを観察することができます。

東山動植物園再生プランでの主な新規整備施設一覧

整備箇所	オープン 年月	写 真	概 要
アメリカバイソン舎	2010年 10月		北アメリカで一度は絶滅寸前まで追い込まれながらも、その後の積極的な保護策により 絶滅の危機から救われたアメリカバイソンを広々とした運動場に展示しています。 観覧デッキ等からアメリカバイソンを間近で観察し、その大きさ、息づかいを感じることができます。
シンリンオオカミ舎	2012年 4月		野性と同じように樹木に覆われた広い運動場の中を群れで走り回るオオカミの姿をご覧ください。 見学場所は、お堀部分はプール越しに柵なしで、ガラス部分は顔と顔がつくほど近くでオオカミをご覧ください。さらに二重網部分ではオオカミの臭いや体温まで直接感じていただくことができます。
ひがしやまパレット上池	2013年 4月		事業者を公募し、民設民営で整備した店舗の一つです。 東山の森の四季折々の自然のパレットをお手本に、東山動植物園を訪れる方が自分の好みの色を“感じる・見つける・創る・楽しむ”をお手伝いするサービスやイベントを提供する施設で、本格的なカフェと様々なグッズが販売されるスーベニアショップで構成されています。
ガーデンテラス東山	2013年 9月		事業者を公募し、民設民営で整備した店舗の一つです。 本施設は「自然との融合」をテーマとしたウェディングにも対応する多目的レストランで、ガラス張りの壁一面からさし込む太陽の光と東山の自然を背景に、ここ東山でしか味わえない特別な時間を楽しむことができます。

東山動植物園再生プランでの主な新規整備施設一覧

整備箇所	オープン 年月	写 真	概 要
ゾーシウム (アジアゾウ・コツメカ ワウソ舎)	2013年 9月		東山の森を背景に、アジアゾウのふるさと「スリランカ」を体感・体験していただけます。施設内はゾウのために多くの工夫がされており、生き生きと生活するアジアゾウを野生の環境に近い状態で観察できます。 屋内観覧展示コーナーでは、アジアゾウやアジアゾウのふるさと「スリランカ」について、立体模型・映像・パネル等を使って紹介しています。
ハクトウワシ舎	2014年 4月		アメリカビーバーが生息する川の上空を、アメリカの国鳥であるハクトウワシが悠々と飛んでいる北米の風景を再現します。樹上で羽休めをしたり、水辺で魚を捕まえるハクトウワシの様子を間近で観察することができます。 また、アメリカビーバーの巣を断面で観察することができ、天敵の侵入を防ぐアメリカビーバーの巣造りの巧妙さを知ることができます。
ツシマヤマネコ舎	2014年 4月		国の天然記念物に指定されている日本の固有種ツシマヤマネコの生態や生息地である長崎県対馬の環境などを学びながら、観覧することができる施設です。 環境省によるツシマヤマネコ保護増殖計画に基づく繁殖施設としての役割もあります。
ゾアシス	2015年 9月		事業者を公募し、民設民営で整備した第二期営業施設の一つです。動物園（ZOO）の中で、にぎわう憩いの場（OASIS）を提供するという意味を込めたフードコートです。 中央休憩所をはさんで、ウエスト、イーストの2棟に別れており、ウエストは飲食施設が2店舗、イーストには5店舗が入っています。

東山動植物園再生プランでの主な新規整備施設一覧

整備箇所	オープン 年月	写 真	概 要
ズーボゲート	2016年 3月		事業者を公募し、民設民営で整備した第二期営業施設の一つです。公式キャラクターのズーボと正面を表すゲートを意味しています。 東山動植物園にしかないお土産等をそろえた物販とカフェを設置しています。
ゴリラ・チンパンジー舎	2018年 9月		ゴリラとチンパンジーの生息地であるアフリカの森をイメージして整備しました。日本最大級の広さを誇る施設でのびのびと暮らす姿や、タワーを利用した樹上生活の様子をご覧ください。
レッサーパンダ舎	2021年 3月		東山の特徴である高低差のある斜面地形を活かした屋外運動場を整備し、レッサーパンダが樹上生活を楽しむ姿や野生に近い動きなどを様々な角度からご覧いただけます。
重要文化財温室前館及び 洋風庭園	2021年 4月		現存する日本最古の公共温室であり、わが国最初期の本格的な鉄骨造温室建築として重要である温室前館を、開園当時の姿に復原しました。 鏡池を中心にした幾何学式デザインの洋風庭園では、温室前館と一体となった美しい景観が広がり、ここでしか味わえない、ゆったりとした特別な時間を過ごしていただけます。

東山動植物園再生プランでの主な新規整備施設一覧

整備箇所	オープン 年月	写 真	概 要
トラ・オランウータン、 コサンケイ舎	2023年 7月		東南アジアの生息地で絶滅危機にある3種の動物「スマトラトラ」「スマトラオランウータン」「コサンケイ」を同じエリアにて展示することで、現地の生態系を学んでいただくことができます。また、動物の姿を間近に観察することができるビューイングトンネルや、三次元的に動く姿を観察することができる屋外運動場等、動物が伸び伸びと暮らす姿や野生に近い動きをご覧ください。